

業務の新聞

第27号 平成30年 8月12日

乗務員勤務制度見直し

5月に会社経営側から提案された「乗務員勤務制度見直し」は、会社経営側の示したスケジュールによれば、8月末で労働組合との論議を終え、「新制度に基づいた次期ダイヤ改正」に向けた実作業にはいるとしています。

この間の交渉で会社経営陣は、「お互い様の精神」「行路設定は各区の現実で異なる」「選択制は各現場で」「働きがいの創出」「働き方の多様化」「効率性の向上」など施策内容と現実の差を埋めるように、言葉を発し対応しています。

私たちは、施策の目的・性格、勤務認証、異常時の勤務指定、短時間勤務の性格、行路作成、手当などなどまだまだ時間をかけた論議が必要だと感じます。

皆さんは、どのように感じていますか？本社・支社や現場管理者にすべてを任せてよいのでしょうか？

地本は、8/1に運車職場の集会を開催し、現状認識の一致を図るとともに率直な疑問や現場での問題点を申し合いました。仲間たちと“わしゃわしゃ”と話し合うことは、私たちの労働運動の基本です。

JR 東日本は経営側だけのものではありません、現場第一線で働く私たちが積極的に働きかけていかなければなりません。だれのためでもなく仲間たちのために！

「情報収集」「現行ダイヤの検証」「仲間たちとの集まり」など私たちが出来ることはまだたくさんあります。

流されず、考え、意志し、集い、より良い職場とより良い会社を創造するためにもうひとがんばりです。

思いつくままに

保線部門でのモニタリング、車両部門でのモニタリングなど“最先端技術導入”が相次いでいます。AI や I o T という文字も様々な場面で目にします。“時代”への対応に後手に廻らず、対処することが企業の課題なのでしょう。

もうひとつ企業としての課題を私たちから提起します。

『会社経営陣自ら社員と約束したこと・スケジュールは守る』いかがですか皆さん！会社経営陣の皆さん！思い当たることがありませんか？

せつかくの施策も実施する側が“言い訳”を駆使して現実の問題から逃避するように“しかたない”と“やっている”と片付けようとしてはいませんか？

地本大会に集まれー！

9/22, 11時から地本大会を開催します。今大会から総会制となりますのでよろしくお願いします。

多くの皆さんが、日々の生活・日々の業務のなかで多くのことを感じ・考えていることだと思います。

30周年アンケートでは、地本全組合員の“要求”を頂きました。一つひとつの声を本社・支社の経営陣に届け、すこしづつでも『変えていく』取り組みを継続的に展開していきます。

地本大会でも「言ってもムダだから」「なんにもないなあ」から『何とかして』『おかしくないか』という声を頂けるようになりました。

勤務手配していただき、仲間たちとマジでアツイ一日を過ごしましょう！よろしくおねがいします！